

ヘルパーステーション

『ヘルパー研修』

ヘルパーステーションでは今年度より動画の視聴による研修を行い、知識の向上を図っています。

これまでは事務所に集まってもらう形式の研修を行っていましたが、各ヘルパーの都合の良い時間に来てもらう事により、以前より参加率も上がっています。

少人数で行うため、研修後の質問や話し合いも活発に行われることが多くなりました。



居宅支援事業所・地域包括支援センター

『高齢者見守りキーホルダー』について

区内にお住まいの65歳以上の方、および65歳未満の方で若年性認知症で心配な方等が、緊急連絡先・医療情報等を区に登録いただき、識別番号を記載したキーホルダーをお渡しする事業です。

キーホルダーを外出時に持っていくカバンなどに付けていただくことで、外出先で突然倒れたとき、認知症の方が徘徊した際に、見守りキーホルダーの識別番号により、おとしより相談センター（地域包括支援センター）・警察署・消防署が素早く身元を確認し、緊急連絡先（親族等）につなげることができます。

キーホルダーの登録にあたり費用はかかりませんが、ご利用にあたっては、担当地域のおとしより相談センターへのお申込みが必要です。

お申込みの際には、緊急時にすぐに駆けつけていただくことが可能な緊急連絡先の方（1～2名）の登録が必要となりますので、あらかじめ同意を得てからお申し込みください。

- 対象となる方：板橋区に住民登録をしている65歳以上の方、65歳未満の方でも、若年性認知症で心配な方等
- 申込方法：担当地域のおとしより相談センターへ電話にて問い合わせ下さい。
- 申込み内容：住所、氏名、生年月日、電話番号、要介護度、ケアマネジャー情報（有の場合）、緊急連絡先（2人まで）、医療情報（医療機関・病名）等
- 費用：無料
- お問い合わせ：担当地域のおとしより相談センター
おとしより保健福祉センター地域ケア推進係
- 電話：03-5970-1119



サイズ：縦24mm横65.5mm厚さ4mm

その他

ケアタウン成増に対するご意見、ご要望、苦情などありましたらお気軽に声をかけてください。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。
次号は10月上旬発行予定です。お楽しみにして下さい。
ホームページも是非ご覧ください。 <http://misono-fukushikai.or.jp/>



たんぽぽ通信

平成29年7月発行 第39号

社会福祉法人みその福祉会・ケアタウン成増

バスハイカー泊旅行



平成28年度を振り返り

社会福祉法人みその福祉会 理事長 坂本 寛

平成28年度は当法人にとって業務を根本的に、大きく見直す1年となりました。人材確保及び育成につきましては、無資格、未経験で入職した介護職員が、日常業務における他職員からの指導と、当施設にて開講している資格取得のための講座を同時期に受講することにより、独り立ちして業務を行うことができる体制が整いました。業務の内容改善につきましては、平成28年度において現行の総合介護ソフトウェアの見直しを行い、各種記録の作成の効率化や多職種連携を大きく進めるために、平成29年4月よりソフトウェアの変更を実施しました。またICT活用により大きく業務改善が見込まれる部分については、介護現場におけるモバイル導入や人工知能を搭載したロボットを導入しました。

平成28年3月に社会福祉法改定が行われ、社会福祉法人において地域公益活動が必須となりましたが、当法人では昨年度から引き続き認知症カフェ「たんぽぽカフェ」や地域の方々による昼食交流会「ランチ倶楽部」、地域住民向けの介護教室等を開催しました。

成増地域における助け合い、支え合いのまちづくりを目的とした協議体が発足し、この協議体運営におけるコーディネーターを当法人職員にてさせていただくこととなりました。地域の皆様のご意見をできるだけ多くいただき、将来における不安を少しでも払拭できればと考えております。

ご関係の皆様には、これからも当法人にご支援・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



4/10 外食ツアーは食事の後に桜並木をウォーキングするという新しい企画行いました。まずは出発前に参加される皆様の自己紹介と集団体操を行ってから「味の民芸」に出発！味の民芸でそれぞれが好きなメニューを召し上がってから、桜並木に移動しました。天気にも恵

